

ファミリーマート夢の掛け橋募金（TOMODACHIコンビニ基金）によるプログラム

TOMODACHI HLAB TOHOKU 2015

～世界と出会い自分と対話する8日間のサマースクール～

**TOMO
DACHI****2015年8月14日（金）～8月21日（金）****【場所】宮城県女川町、雄勝町****【会場】ELFALO、Moriumius、女川小学校、フューチャーセンター**

ファミリーマートは、店頭募金「夢の掛け橋募金」の一部を、TOMODACHIコンビニ基金（※1）として、公益社団法人 米日カウンシル-ジャパン（TOMODACHIイニシアチブ）に被災地域の次世代支援を目的としたプログラム提供を行うため2013年秋より寄付しています。

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県沿岸の町、女川町で、2015年8月14日～21日「TOMODACHI HLAB TOHOKU 2015」を共催で実施し、60名の高校生（内31名が東北出身）と40名の大学生計100名が、7泊8日で行われる教育プログラムに参加しました。本プログラムは、日米の大学生が協働で日本の高校生向けに開催し、「TOMODACHIコンビニ基金」を通して、東北で初めて開催されるHLAB（※2）のサマースクールとなりました。開会式には、女川町の須田善明町長と同町教育委員会の村上教育長がご列席。参加高校生は、様々な国籍、世代、地域、学校といったあらゆるボーダーを越えたこれまでに経験したことのない多様な価値観のコミュニティのなかで互いに学び合い、社会、地域、そして自らの未来を主体的に考える機会となりました。



※1「TOMODACHI HLAB TOHOKU」は、ファミリーマート夢の掛け橋募金をはじめとする「TOMODACHIコンビニ基金」により開催されています。
 ※2「HLAB」とは異なるバックグラウンドや思いを持った学生が集い、「ボーダーを越えたりべらる・アーツ」をコンセプトに、国境・世代を越えた交流による進路指導の新しい形を提唱する、教育・国際交流プログラムです。

HLABサマースクールプログラム**(1) セミナー**

受動的なものではなく、ディスカッションやディベート等のインタラクティブな重視した「リベラルアーツ（※）セミナー」が実施されました。

※「リベラル・アーツ」とは、「個々が自身と向き合い、関心を探し、将来を主体的に選択するための最大限のサポートを行えるシステム」のことです。

(2) ワークショップ（漁業体験）

女川町の被災前と被災後の漁業環境の変化について学び、高校生と海外の大学生が協力してホヤなどの海産物の加工作業を体験しました。



スローガンを記したハウスフラッグを作成



音楽に合わせた書道パフォーマンスを披露

(3) フォーラム（小泉進次郎政務官の講演）

内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官の小泉進次郎政務官をお招きし、高校生に向けて「自身の高校生時代の紹介や今後の復興のあり方、今若い世代が取り組むべき課題」について講演いただきました。

(4) フリーインタラクティブ

多くの社会人の方を迎え、ご自身のキャリア選択や仕事観、「自分がもし高校生に戻れるなら」というテーマで、ざっくばらんに話をさせていただきました。



社会人の方々の話に聞き入る高校生たち

参加者の声

参加者の高校生は8日間の中で日米の大学生から学び、大学生と共に学ぶという貴重な経験をしました。開会式でみせていた緊張の表情も、閉会式では明るい将来を予期させるような自信に満ちたものに変わっているように感じられました。

Voice

(1) 櫻井 千聡さん（宮城県多賀城高校 1年生）

「自分の可能性ってこんなにも広がったんだって思ってほしい。」HLABが始まる前から、今まで、運営員を務めている田中絹子（慶応大学1年）さんが言った言葉が頭から離れません。私はある動画を見て、この言葉を聞き、自分の可能性について興味が出たのでTOMODACHI HLAB TOHOKUに応募しました。そこで私は、今までに過ごしたことがないぐらい濃い一週間を、女川で過ごしました。周りの皆と切磋琢磨し合い、乗り切った一週間は、自分自身と向き合う一週間となりました。自分の可能性も広げるのも狭めるのも、自分なんだよ。そうアメリカの大学生に言われた言葉が今も心に残っています。私はこのサマースクールを踏み台にし、新たな目標に向かい、スタートを切ったばかりです！

(2) 木村 竣哉くん（宮城県石巻高校 2年生）

変わった、そう思わせてくれる何かがHLABには確かにあった。最初のセミナーでなかなか英語が出てこなかった自分に、その夜に優しく声をかけてくれたのは自分のハウスの海外大学生だった。「不安なのは 竣哉 だけじゃない、私も、みんな不安なんだよ。だから一緒に頑張ろう」という言葉は、少し折れかけていた僕の気持ちをもう一度奮い立たせてくれた。いつの間にか近づくように距離、打ち解けていく雰囲気。この八日間を、私は一生忘れられないだろう。



「教わる」だけでなく意見や考えを言葉や絵、演劇で表現



ハーバード大学の学生と議論する高校生

【関連ページ】

■HLAB/ TOMODACHI HLAB TOHOKU 2015 <http://tohoku.h-lab.co/>

TOMODACHI イニシアチブとは…

「TOMODACHIイニシアチブ」とは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダー育成を目指す公益財団法人米日カウンスルと在日米国大使館が主導する官民パートナーシップです。

ファミリーマートは、2013年度からお客さまからお預かりした「夢の掛け橋募金」の一部を、企業募金として10%のマッチングギフトを加えて、公益社団法人 米日カウンスル-ジャパン（TOMODACHIイニシアチブ）に寄付をしています。今回開催された「TOMODACHI HLAB TOHOKU 2015」の実現も、皆様のご支援によるものです。次世代育成への皆様からのご支援、本当にありがとうございました。

【関連ページ】

■TOMODACHIイニシアチブ

<http://usjapantomodachi.org/ja/>

■ファミリーマート/夢の掛け橋募金

http://www.family.co.jp/company/eco/action/dbf_bokin.html

■ファミリーマート/店頭募金はどのように使われているの？

<http://www.family.co.jp/company/eco/bokin/index.html>

ファミリーマート夢の掛け橋募金

次世代育成への
皆様からの温かいご支援
ありがとうございます！



ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を
幸せにする存在となることを目指します。